

社会科研究部 春季巡検（さいたま巡検）

○行程表

池袋駅 → 西大宮駅 → 大塚古墳 → 鉄道博物館駅 → 鉄道博物館 → 北大宮駅
→ 氷川神社 → 青木昆陽碑 → 大宮公園小動物園 → 大宮公園駅 → 岩槻駅
→ 遷喬館 → 時の鐘 → 愛宕神社 → 芳林寺 → 岩槻駅

○見学地

・大塚古墳



埼玉県の名所である大塚古墳 [埼玉県では珍しい方墳（埼玉県では円墳が多い）]。案内板がなければ残念ながら見た目はただの盛り土のような状態。近くには馬頭観世音の文字が確認できる石碑があり、像が彫られていないことから、馬の供養のために設置されたのかもしれない。

・鉄道博物館



「てっぱく」の愛称で知られる鉄道博物館。鉄道ファンのみならず、歴史好きにもたまらない内容が盛りだくさん。真ん中の写真は国の重要文化財に登録されている「ED40形式10号電気機関車」。他にも複数の重要文化財があり、鉄道の歴史と日本の文明開化から戦後の高度経済成長までの流れがリンクして学習できるため、一日中いても見学し足りない。

・氷川神社



武蔵国一の宮である氷川神社。東京都や埼玉県に多く存在する氷川神社の総本社。氷川信仰は須佐之男命に対する神道信仰の一つであるが、荒川流域に氷川神社が多く存在していることから、昔から氾濫する荒々しい荒川と須佐之男命がリンクすることは納得がいく。

- ・大宮小動物園



大宮公園内にある動物園。鳥類や小動物の割合が多い。カピバラに触ることもできたが、見た目以上にカピバラの毛が固いことに驚いていた。

- ・遷喬館



岩槻藩の藩校であった遷喬館。元々私塾だったこともあり、ひっそりと存在している。中に入るとガイドさんの話を聞くことができ、建物の中にある刀傷なども教えてくれるなど有意義な内容だった。埼玉県では唯一現存する藩校として文化財（史跡）になっている。

- ・愛宕神社



岩槻城の土塁上に存在しているため、社は階段を登った上にある。また、社の裏手には土塁の跡らしき微高地が確認できる。近所に住んでいる人と話す機会があり、岩槻の歴史について聞くことができた。

- ・芳林寺



太田氏や高力氏など歴代の岩槻城主と縁の深い禅寺。入口付近には太田道灌の像が悠然と佇んでいる。入口付近に「日光御成街道（日光街道）」の石標があり、日光御成街道の宿場町として栄えた岩槻の歴史を今に残している。